

# YOUTH FOR THE NATIONS 2015

# 宣教



それゆえ、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。  
マタイ28章19節

**CFNJ サハリン・アウトリーチ**  
**卒業式・世界の為の祈り**

# CFNJ NEWS

クライスト・フォー・ザ・ネーションズ・ジャパン聖書学院 2015. 4・5月号 NO.159



キリストの再臨と教会の備え

# 「目を覚まさない！」

花婿を出迎える十人の娘 エレーナ・エレミーヴァ師

マタイ25章1節～13節



ロシア・サハリ州・ボロナイスク「キリストの平和」教会牧師  
エレーナ・エレミーヴァ師

「だから、目をさましていなさい。あなたがたは、その日、その時を知らないからです。」マタイ25章13節

■ロシア、サハリ州に住む、エレーナ師がサハリンの現状を語り、「再臨の備え」というテーマで、学院で講義をして下さいました。以下はその内容の抜粋です。

■今日、私たちは、イエス・キリストの再臨について、しばしば耳にします。教会は準備をしなければなりません。マタイの福音書25章には、「花婿が来るのを待つ10人の娘の例話」が描かれています。先ず人に、この例話の中に出てくる娘の「何人が眠りましたか？」と尋ねると、ほとんどの人が、次のように答えるでしょう。それは「5人です」と。しかし、マタイの福音書25章7節には驚くべきことが書かれています。何と！「10人全員」が眠ったのです！もしこの娘たちが教会を指し示していると思うならば、又、何よりも、私たち自身が賢い者と呼ばれたいのであるならば、私たちは自分の目を覚ます責任を取らなければなりません。

## あなたは眠っているのか？

■今、私たちは、日々の生活や、教会の奉仕などとても忙しくて、当然、自分は眠ってなどいないと思われるかもしれませんが、人はぐっすり眠りながら夢の中で忙しくすることが出来るのです。でもそれは目覚めではなく眠った状態です。この例話の中の目が覚めているとは何を意味するのでしょうか？それは現実と霊的な領域を正しく理解する事です。わたしたちの誰もがそのような正しい目覚めを持ちたい

と願うでしょう。でも実際には、私たちの「高貴で正しいクリスチャン生活」の中に、異教的な伝統が忍び込んでいることに気づいていません。それが問題なのです。大切な事は、私たちは神からの義を受けながら、その起源の故に、神を冒瀆するある種の儀式や、偶像礼拝を同時にすることはできないということです。私たちは「半分聖徒」であることや、「ほとんど」神の子供であるなどと言う事はできません。私たちは、「神の子供であるか」、「否」かのどちらかしかありません。ハーフトーンであってははいけません。

## 警告しなければなりません!

■私たちの天の父のみこころは、私たちが聖であることを願っておられます。レビ記11章44節から45節。又、第1ペテロ1章16節は、繰り返し私たちが聖であるように命じています。

「わたしはあなたがたの神、主であるからだ。あなたがたは自分の身を聖別し、聖なる者となりなさい。わたしが聖であるから。地をほういかなる群生するものによっても、自分自身を汚してはならない。わたしは、あなたがたの神となるために、あなたがたをエジプトの地から導き出した主であるから。あなたがたは聖なる



者となりなさい。わたしが聖であるから。」レビ記11章4節～45節

「それは、「わたしが聖であるから、あなたがたも、聖でなければならない」と書いてあるからです。」第1ペテロ1章16節

■知恵と愛に富んだ、私たちの御父が私たちに不可能なことを命じることなどあるでしょうか？ もちろんそんなことはありません。私たちは深く考えずにやっている物事の起源を、自分の頭脳を使って、探索し、調査しなければなりません。イースターの時に、卵に色をつける伝統がどこから来たか調べてみてください。イースターの前に、お店に色々な種類のウサギがたくさんいるのは何故でしょうか？（特に欧米の習慣）イースターという言葉の意味を、あなたはご存知でしょうか？もしあなたが、こういったことの起源を調べると、過越の祭りのことをイースターと呼ぶ事はなくなると思います。もちろん、私たちはみんな、クリスマスや新年を喜びます。私もクリスマスは大好きで、子供の時からから良い思い出がたくさんあります。しかし、だからといって、なぜ？とても暖かい国で生まれた子供の誕生のシンボルとして、北国のモミの木が用いられているのか？私たちは考えないのでしょうか？私はあなたに警告しなければなりません！この花婿が来るのを待つ10人の娘のように、目が覚めてから、「あなたは明確な決断をし、主の栄光のために立ち上がるか？」それとも、「安楽な生活を続け、眠り続けるか？」どちらかを選ばなければなりません！

## 世を変える為の召し。

私たちはクリスチャンではない人々の間に住んでいます。しかしそれで、互いにどのように影響を与え合っているかということに気づきすらしません。私たちは主のために、この世界を変えるように召されています！しかし時として、それとは逆に、世が私たちを変えてしまっているのです！私たちは聖霊様に導かれて、世からの影響に勇気をもって立ち向かわなければなりません！

サハリンには、原住民として、「ニブヒ族」、「オロチ族」、「ナナイ族」、その他の部族がいます。伝統的に彼らはシャーマニズムを行っています。これはとても強い霊的な束縛であり、それに従う者に、結果的には呪いをもたらします。サハリンに住む私たちは、クリスチャンとしてこの世に光を示し、人々がそのような呪いの中から解放されるように救いの手を伸ばしています。しかしそれは時として衝突を生むことにもなります。でも私たちがそれを求めてわけではありません。数年前、サハリンの中央に位置する「ポロナイスク」という町で、そこにいる地元の民族グループの代

表者たちが、海の神に供え物をする祭りの開催を決定しました。そして、その為に地域のシャーマン達を呼び集めました。彼らは海辺にその場所を準備しました。私たちは、教会として行動を起こす責任を感じ、その祭りの前日に、10人から12人のメンバーが集まり、シャーマニズム的な儀式が行われる場所で聖餐式を行いました。そして、みんなで、自分たちが何をしているのかわからない人々が救われるように主に祈りました。そしてその場所に対してイエス・キリストの権威を宣言し、御言葉とともに、人々に警告するチラシを配布しました。その結果の反応はとても早く、はっきりしていました。参加者や組織者たちは、私たちが祭りの邪魔をしていると言いました。私たちが雰囲気台無しにしたと感じて、とても怒っていました。しかしこれは私たちの義務だったのです。同時に私たちは、異教的なお祭りを楽しむために子供たちと出かけるクリスチャンがいることも知っています。2月には、浮かれた、とても騒がしいロシアの民間の祭りがあります。そこで恐ろしいシャーマンを見る事はありませんが、この祭りの霊は悪霊的なものです。

■もし私たちが真理を求め、物事の起源を探っていくならば、ショックを受け、目覚めさせられるでしょう！今は眠るべき時ではありません。目を覚まし、主に対して責任ある行動を取らなければなりません！時は近づいています！目を覚ましてください！■





# 世界の為の祈り

とりなし手の皆様へ



## ISIS

■祈りましょう！

■イスラム教過激派の **ISIS** による残酷な殺戮に対して、国々が一致団結するように祈りましょう！また、コバニの町で **ISIS** と対決し勝利したクルド人軍隊（ペシュメルガ軍）のためにも祈りましょう。私たちも、敵であるサタンに対して戦い、祈りを通して、「信仰の良い戦いを戦う」必要があります。**ISIS** を止めることはできますし、彼らは打ち破られます。ちょうど、軍隊の先頭に立った武装していない民が「主に感謝せよ。その恵みはとこしえまで。」と歌い、ヨシャパテ王がイスラエルの敵を打ち破ったように。（第二歴代誌 20:21）闇の力によって導かれている **ISIS** や他の勢力を打ち負かすために、祈りを通して、今まさに神の軍隊の前を進む、賛美する者たちの群れの中に入りましょう。

### ブレイズ・レポートと祈りのリクエスト！

■多くの命を失わせ、すべてを残して避難することを余儀なくされた難民を生み出している、イラクにおける **ISIS** などのイスラムテログループが見せている非人道的な虐殺と残虐行為によって、世界は言葉にできないほどのショックを受けてきました。しかし、イラクでは、エルビルのような避難所となっている数都市において、避難している人々が驚くような勢いでキリストに立ち帰っています。数々のテント教会が間に合わせのキャンプ内で湧き上がっています。現在の課題は、イエスを受け入れる人々の数のペースについて行くことです。混乱と欠乏の中で、キリストのメッセージが明るく鮮明に燃えます！「イエスは世の光です」情報源：[us.icej.org/news/commentary/it-now-sunday-middle-east](http://us.icej.org/news/commentary/it-now-sunday-middle-east)

## ウクライナ

■東ウクライナに住むユダヤ人たちが『宗教と財産を「登録」するように告げる小冊子』を受け取りました \* 情報源：Y ネットニュースードネツク、ウクライナ 2014年4月17日

■昨年春、Y ネットニュースは、東ウクライナのドネツクのユダヤ人共同体に対して、暫定親ロシア政府が、ユダヤ人が財産の登録を行わなかった場合、市民権が取り消され、国外追放となることを警告する、ロシア語で書かれた小冊子を配布したことを報告した。Y ネットニュースはまた、その小冊子には次のような宣言が書かれていたと述べました。：「あなたがユダヤ教であること、家族の宗教を示す文書のほか、車両を含む、あなたが所有するすべての不動産財産に対する権利を確立する文書を登録するためには、ID とパスポートが必要です。登録をしない場合は、市民権を失う結果となり、財産の没収および国外に強制追放されます。」（16 歳以上のすべてのユダヤ人は、報告・登録するために、50US ドルを支払う必要があります。）



■ その時以来、東ウクライナの内戦はエスカレートしています。多くのウクライナのユダヤ人は今や、彼らの家族のための唯一の安全な場所はイスラエルだと考えています。ウクライナ軍のスポークスマン、アンドリー・ルイセンコは、1,500 人ほどのロシア軍が \*、反乱軍支配の国境ポストを經由し、ウクライナに入ったと報告しています。ロシアとの緊密な関係を維持し、親欧米派のウクライナ国家が欧州連合 (EU) と開放的な自由貿易に参加するのを防ぎたいと願うウクライナ反政府勢力を助けていることを、ロシアが否定する一方で、欧米の軍事専門家は、東ウクライナにある膨大な量の新しい重火器は、ロシアの否定が偽りであることを示している、と述べています。ロシアが支援している分離独立派とウクライナ政府軍の間の戦闘で、昨年の 4 月以来、5,300 人以上が死亡し、東ウクライナでは 100 万人以上の人々が避難しています。(カナディアン(\*「ブランドン・サン」記事- オンライン版、2015 年 2 月 9 日 (月))

■ ウクライナ内戦の衝突を通して、ウクライナのユダヤ人を破壊することを望んでいる、空中の主権と力に対抗して、緊急に祈って下さい。ロシア軍による攻撃を受けているウクライナの人々のためにも祈って下さい。また、「アリーヤー」(イスラエルに戻ることを求めているユダヤ人と、ウクライナの様々な民族の人々およびロシア人のためにも、彼らの救世主としてイエスを知ることができるように祈りましょう！

## フランス

■ ICEJ からのレポート (国際クリスチャン大使館エルサレム、2015 年 1 月 31 日) <info@icejusa.org>

■ パリでの最近の致命的なテロ攻撃をきっかけに、イスラエルに移住する手続きをするために、フランスのユダヤ人たちがイスラエルのユダヤ機関に記録的な数で並んでいます。反ユダヤ主義の台頭、イスラム教徒の若者の暴力、および自家製のジハード主義者という危険なミックスによって、フランスのユダヤ人社会の大部分において、いままでわずかに残っていた安全という感覚が、今や粉々になっています。多くの人々が今では家族のための唯一安全な場所として、イスラエルを考えています。ユダヤ機関は、今年予想されるフランスからの 15,000 人以上のユダヤ人の流入のための準備を ICEJ に求めています。

■ ユダヤ人たちが迫害している者たちから逃げるのを助けることに尽力しているすべての組織のために祈って下さい！

■ ユダヤ人たちがイスラエルに入るまでには、航空費、仮設住宅、交通、貧困家庭への助成金などを提供するために多大な努力と費用がかかります！私たちの祈りは、イラクやシリアでのイスラム過激派迫害の被害者に仕え、助けることができます。ユダヤ人が 1948 年にイスラム教徒の土地から追い出されたのと同じように、クリスチャンが今同じ運命に苦しんでいます。イラクとシリアのクリスチャンは、エジプトのコプト教徒に次いで、中東で二番目に大きいキリスト教の集団です。生き残っている人々は、様々なイスラム主義派閥の野蛮な勢力から逃げ、行き場がなくなっています。イラクとシリアには、現在破壊されている、あるいは空っぽのままにされているたくさんの教会があります。数千人のキリスト教徒が虐殺されており、何十万もの人々が逃げまどっています。少なくとも、イラクとシリアのキリスト教徒の 3 分の 2 以上が今や住むところを失い、私たちの真剣な祈りと支援を必要としていると見積もっても良いでしょう。難民は、私たちの主イエスの心にとって大切な存在です。主イエスが赤ちゃんだったとき、彼と彼の家族はエジプトにのがれた難民でした。主イエスへの信仰のために迫害に苦しんでいる難民のもとに、どれほど主ご自身心に向けていることでしょうか！(ICEJ は、難民キャンプで働いている評判の良いミニストリー団体のうちの、信頼できる情報ソースのひとつです。) (info@icejusa.org)

### ブレイズ・レポート!

■ マナグア、ニカラグア -- ニカラグアおよび中央アメリカ諸国から、約 1000 人の牧師たちが、装備され、励ましを受け、自分たちの教会に戻ったら、独自の文化や社会の中で効果的に福音を前進させるために整えられたリーダーを育てることに挑戦するために、グローバルアドバンス \* 会議に出席しました。会議の一部には、彼らの国で神の国を前進させるために、自分たちのビジネスを用いることに挑戦するよう、ニカラグアのクリスチャン企業の経営者やビジネスリーダーのための特別な「マーケットプレイス・ミニストリー」セッションが含まれていました。

(\* グローバルアドバンスは、米国および世界中の最前線のリーダーたちの心にビジョンを、彼らの手の中にミニストリー・ツールを置きます。 mparkerglobaladvance.org)





■ハレルヤ！このALPSで学ぶことができ、本当に主に感謝します。自分に死に、自分の十字架を負って主に従っていくことの大切さ、我意がなくなり、神の心で満たしてくださいと祈る大切さを学びました。毎日が、一瞬一瞬。一つ一つの学びが宝石のような、大切な学びの時でした。これからの実践の毎日の中で、いただいたものを流し、惜しまず、熱心に、喜んで、持てるすべての力を持って主にお仕えしていきたいと思っております。励まし支えてくださった先生方、スタッフの方々、大切な友人たちに、心から感謝いたします。

**アルプスコース卒業 新井田 路子**



■「神のことばは生きていて、力がある」ヘブル 4:12

3年前、入学時のコメントで書いた御言葉です。学院での3年間は、まさにその事を体験する日々でした。自分の弱さを感じた時、困難な状況に置かれた時、主は御言葉によって私を強め力づけて下さいました。神様の言葉は信じる者に生きて働き、本当に力があります！これからもその事を信じ、イエス様から目を離さず歩んでいきます。神様と祈り支えて下さった方々に心から感謝します。Glory to God！

**アルプスコース卒業 森谷 泉**



■神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のためには、神がすべてのことを働かせて益としてくださることを、私たちは知っています。(ローマ8：28)

CFNJ 聖書学院で過ごした3年間を振り返ると、主は御言葉の通りに全てを良きに変えてくださったことを感じ、深く感動しています。主の良きしてくださったことを何一つ忘れることなく、インマヌエルなる愛する主と共に、新たなる地へ飛翔します！多くの方々のお祈り感謝します。どうぞ今後とも変わらずお祈りをお願いします。

**アルプスコース卒業 石橋 薫奈**





3月6日(金)

## 卒業式

学びを終え、主の召しに従い旅立つ！

## 卒業おめでとう！

■去る3月6日、学院では、ALPS生3名と、2年コース生2名、計5名を送り出す卒業式が行われました。当日のゲスト、拡大宣教学院学院長の永井信義師のメッセージを始め、多くの方々の祝福と祈りを受けて、卒業生5名はそれぞれの道へ旅立っていききました。又、同日、午後には、13年間に渡り、学院の舎監として粉骨細心仕えて下さった、吉田夫妻が、その働きを終え、4月から群馬県に移住されることになりましたので、心からの感謝と祝福の祈りを持って送り出すことができました。卒業生と吉田夫妻のこれからの歩みの祝福を共に祈りくだされば幸いです。



■二年間 先生方 スタッフの方 兄弟姉妹に心から感謝します！私は周りの人達の愛で卒業する事が出来ました！ここの学院の凄い所は 愛です！いつもいつも愛してくれました！イエス様の愛は凄いです！皆に立てあげてもらい授業のメッセージで立てあげてもらい 賛美で立てあげて 神様に立てあげてもらい ありえない奇跡的な二年間でした！これから卒業をして外でイエス様の愛を伝える人になりたいと思います！感謝します！

## 2年コース卒業 桜谷 彰子

■まず、第一に今回卒業できたことを神様に感謝したいと思います。この学院での学びを二年間続けることができ、多くのことを学ぶことができたのはただ、神様によることだと思います。僕がこの学院に来て一番変わったことは神様への考え方です。クリスチャンホームで育ってきた私は神様がいたり、恵んで祝福して下さることを幼い頃から知っていましたが、それが時に私にとって重荷となることがありました。今回の卒業に当たって振り返ると一番に頭に思い浮かぶのがこの重荷を感じなくなったということばかりでなく、神様とともに歩むことを喜ぶ事が出来るようになったと思います。そして、今までは自分が主導で生きていこうと思っていたから神様と共に歩むことを重荷に感じる事があったのだと気付かされました。神様は二年間で私に神様と生きることの素晴らしさ、自由、喜びを与えてくれたように感じます。この二年間私を支え、祝福して歩んでくださった神様に栄光をお返しして感謝を捧げます。

## 2年コース卒業 土屋 将一





# サハリン宣教の父、「小林繁樹師」、天に凱旋！

ソビエト連邦崩壊直後からサハリンへの宣教をされていた小林繁樹師が、2015年2月12日（ホノルル現地時間）天に凱旋されました。以下は、エレナ師から日本の支援者へのお手紙です。



故小林繁樹師

エレナ師から日本の支援者の皆様へ

親愛なる信仰の友の皆様へ

数日前、私達皆が、一人の偉大なる御器の喪失を経験しました。それは、牧師で宣教師の小林繁樹師が天の故郷に召されたことです。主が、先生のすばらしい人間性、その知識や情熱と一緒に取り去られたことは容易には実感できかねます。小林先生は、このサハリンの私達の多くの者にとり、まづ教師でありました。先生は、日本の多くの支援者の皆様の友人でした。また、この地に教会を建てあげ、貧困にある兄弟・姉妹を援助しようとのヴィジョンを共有する方々を、心から尊敬しておられました。そして、このサハリンでの宣教という困難な働きをする先生を支援される皆様に、感謝をもって祈るべきことを私達に論じてくださいました。この手紙は、皆様方が長年に亘り、サハリンの地に教会を建てあげ、神の王国の働き人を育成するという壮大な宣教の御業に忠実に参加して下さったことに、私達が心からの感謝のことば「有難うございます」を述べる機会とさせていただきます。さて、この2月の上旬から中旬にかけて極く短期間でしたが、私は、札幌を訪問する機会を頂きました。以前サハリンに来て下さったことのある石田先生のオリーブ・チャペルの聖日礼拝に出席しました。そこで、私は、日本のクリスチャンの皆様が我々サハリンの働きのために、なんと熱心に祈り、支援しようとしておられるのかを、この目で見て、深い感動を覚えました。昔のサハリンで生まれたという日本人の兄弟の方々にもお会いしました。また、小林

先生が、私達の環境厳しくも美しい島で、20余年にわたり労苦してなされた宣教の御業の報告を聞くために、大阪からわざわざ来てくださった数人の姉妹とも、お交わりの時を持ちました。この方たちは、多くの教会が建てあげられ、数々のセミナーがもたれ、沢山のクリスチャン家族が助けを受けたことを知って、きっと大きな励ましを受けたことと確信します。

石狩市にある CFNJ 聖書学院（院長；鍛冶川利文師）でも、サハリンに於ける教会の歴史と発展について講義をすることができました。小林先生が、1993年に初めてサハリンに来られた時、ほんの2、3のクリスチャンの群れが島の南部にあっただけでした。それが、いまや、全島に福音的教会が68あります！その殆どが、日本のクリスチャンの皆さんとキリストの大使小林先生のお祈りと御支援により始められたものです。今回の訪日に際して、石田先生と「ロシア宣教支援の会」から渡航費の支援を頂きましたこと感謝と共に申し添えます。そして、親愛なる友人である皆様に、特にお願い申し上げます。私どもの友であり、教師であり、使徒また牧師であった小林繁樹師によって輝かしく押し進めて来られたこの〈宣教〉の御業がさらに継続される為、お祈りと尊い捧げ物をもって、引き続きご支援下さいますよう心から願います。皆様の上に、天の父の愛と祝福をお祈り致します。

在主エレナ・エレミーヴァ



# 荒野のイスラエルに対する主の備え

## 献金のお願い

荒野のイスラエルに対する主の備えに関して大きな励ましを受けていますのでそれを分かち合わせていただきます。

シナイ半島の荒野にいたモーセも、イスラエルの民も、自分たちの最低限（水・食べ物）の必要すら満たすことが不可能な状況でありました。ですから、主の備えに全面的に信頼しなければなりませんでした。

## 毎日の「食糧」、1日に何と！1500トン！

イスラエルの民が、飢え死にしない程度の食糧だけで、1日に1500トン必要でした。現代人が普通に食べる分で計算すると、1日4000トン必要でした。今日これだけの食糧を運ぶとしたら、1.6kmの長さの貨物列車が二つ必要です！主はこれだけの食物を、毎日、イスラエルの民のために備えてくださいました。

## 毎日の「水」、1日に何と！5000万リットル！

毎日最低限必要な、飲み水、食器洗いなどのための生活水が、5000万リットルでした。毎日のお風呂が欠かせない日本人だったら、もっと必要だったでしょう！これだけの水を、タンクの乗った貨物列車で運ぶと、約5kmの長さが必要になります。

## 主は、これだけの必要を、何と！毎日！備えました！

主は、あえて、自然の資源に頼れない所にご自分の民を置き、ご自分が、いかにすぐれた力を持っておられるかを示してくださいました。私たちの神様は、どのような状況にも制限されない、全能のお方です！約束を守るお方です！信頼できるお方です！これは、イスラエルにも当てはまりますし、「私たち信じる者に働く」（エペソ1:19）神のすぐれた力でもあります！

お互いに、全能の神様の備えを信じて、このすぐれた力が、どのように偉大なものであるかを体験的に知る者たちとさせていただきます！「また、神の全能の力の働きによって私たち信じる者に働く神のすぐれた力がどのように偉大なものであるかを、あなたがたが知ることができますように。」 エペソ 1:19

今までお祈りや献金、また、様々な形で学院を支えて下さり心より感謝いたします！2014年の会計報告（12ページ参照。）にあります通り、すべての必要が満たされました。支えてくださったみなさまが、主の備えの答えとなってくださったことに感動を覚えます。

今年のCFNJ 聖書学院の予算の中の収入の3分の1はキングダム・ファウンデーションからの献金です。キングダム・ファウンデーションとは、CFNJ 聖書学院の働きを経済的に支援する、アメリカにあるクリスチャンの団体です。それ以外に集めなければならない献金が約**1200万円**あり、全体の34パーセントになります。大きなチャレンジですが、主に呼び求め、また支援して下さるみなさまに、この必要が満たされるように祈りの応援をお願いします。心動かされた方は、ぜひ、「定期献金」、または、「一時献金」により、支えていただけますならばまことに幸いです。

スタッフ一同、皆様のご支援を感謝すると同時に、主からの豊かな御恵みがありますよう、お祈り申し上げます。

CFNJ 聖書学院国際部長 グドール ジェラルド



※定期的、継続的に献金をして下さる方で、ゆうちょ銀行総合通帳（旧郵便貯金）をお持ちの方には、『自動送金サービス』が便利です。一度、申し込んでいただきますと、毎月定額が自動的に送金されます。詳しくは、学院のサイト（<http://www.cfnj.com/offering.html>）をご覧になるか、事務局にお尋ねください。



ユース・フォー・ザ・ネーションズ 2015

# YOUTH FOR THE NATIONS 2015

今回の「ユース・フォー・ザ・ネーションズ」の  
キャッチフレーズは? 「PANTA TA ETHNE」

■「Panta ta ethne」とは? マタイ 28:19 で使われているギリシャ語です。

■YFN2015 テーマ聖句: マタイ 28 章 19 節

「それゆえ、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。」

今年も学院ではYFN2015(ユースフォーザネーションズ)を開催致します! 今回のテーマは、「世界宣教」。キャッチフレーズは、「Panta ta ethne」。「Panta ta ethne」とは、マタイ 28:19 で使われているギリシャ語です。日本語では「あらゆる国の人々」、英語では「all nations」と訳されますが、正確には、「すべての民族グループ」、つまり、all people groups という意味です。YFN2015 に参加して、あなたも世界宣教にGO!

GUEST SPEAKER

「佐伯 淳平 師」

■分科会講師/分科会は、プログラム2日目の、5月4日の午前10時より12時までの時間です。



■Be One 教会牧師。1979 年生まれ。17 歳のときに劇的にイエス・キリストと出会い、特にユースに対する心が与えられる。大学時代は教会に仕えながら、長期休暇ごとに短期宣教に携わる。特にアフリカのモザンビークにて、福音の伝わっていない民族の間で教会開拓の奉仕をした経験から大きな影響を受ける。大学卒業後、英語教師として中学校・高等学校で働きながら、2005 年より教会開拓をはじめ、学校の生徒が多数キリストに導かれる。2013 年教師を退職し、教会開拓に専念。2014 年 11 月結婚。日本の若者をキリストの弟子とし、アジア、世界の祝福となる姿を見ることを人生のミッションとしている。

■分科会講師/佐伯淳平師 「あなたもわたしも宣教師」

分科会の説明: 宣教師になりたい人だけでなく、こっそり興味がある人も、全く興味のない人も、宣教観が変わります。



■岡田留美子師  
「デボーションのやり方」



■田中満矢師  
「男女・恋愛」



■ジェリー・ジャンセン師  
「あなたにもできるいやし」

日時 2015 年 5 月 3 日(日)~5 月 5 日(火・祝)

場所 CFNJ 聖書学院

5 月 3 日 (日)		5 月 4 日 (月・祝)		5 月 5 日 (火・祝)	
	遠方から来る方、交通手段がない方は、車で麻生まで送迎します。希望の方は事前に予約して下さい。	7:30	朝食	7:30	朝食
		8:30	デボーション	8:30	デボーション
		9:30		9:30	お掃除
		10:00	分科会テーマ①、② お好きなテーマを2つ選べます。	9:50	
		11:00		10:00	集会③ 10時だよ全員集合
		12:00	昼食	11:00	
14:00		13:00		12:00	ポーっと燃やしてポーっとQ (BBQ)
		14:00		13:00	
15:00	受付	14:00	レクリエーション		
16:00	集会① 3時だよ全員集合	16:00			BBQ 終了後 解散
17:30	夕食	17:30	夕食		
18:00		18:30	集会②主を慕い求める祈り会		
18:30		21:00	分かち合い (スモグル)		
19:00	ワールドミツシヨントイム (スモグル) ・ガーナ (エリツク・オフォス・トウワム) ・メキシコ (アルベルト・モトモチ) ・フィリピン (アーノルド・サラザール) ・スイス (クリス・ドベリ)	22:00	お風呂		
21:00					
22:00	お風呂				

参加費 6,100 円  
(2泊3日・食費含む)

1,500 円  
(参加登録のみ)

※宿泊定員に限りがありますので、お早目にお申し込みください。宿泊は寝袋の持参をお願いします。マイ枕・マイマット持ち込みOK!

申込方法 参加申込書をFAXで送信後、参加費合計額を

下記の口座へお振込ください。【4月22日(水)締切】

振込先(郵便振込口座) [加入者] ユース・フォー・ザ・ネーションズ [口座番号 102740-9-45149]

●お問い合わせ/ TEL(0133)74-1341・1342 FAX(0133)74-1343  
5丁目 157 ●YFNWEBサイト <http://of7092.wix.com/yfn-japan>  
ダウンロードできます。

【主催・企画】ユース・フォー・ザ・ネーションズCFNJ 聖書学院・事務局内

〒061-3216 石狩市花川北6条  
参加申込書はWEBサイトからも





# CFNJ 特別講義 ゲストスピーカー

●ゲストスピーカーの授業は、どなたでも無料で聴講出来ます。(自由献金制、テキスト代有料。)通常の授業も聴講が出来ます(有料)又、入学を検討されておられる方には、無料体験入学制度もありますので、詳しくは事務局までお問い合わせください。

## 2015年度 1学期 授業カリキュラムスケジュール

(2015年4月13日(月)～7月3日(金)迄)

4月14日(火)～17日(金)迄の4日間。  
(13日(月)は、入学式。午前9時より。)



豊田信行 師

■ニューライフクリストチャーチ牧師。1964年生まれ大阪府出身テキスタイルデザイナーを経て献身。Portland Bible College(オレゴン州)卒。1997年牧師に就任し、今日に至る。講義テーマは、「ネクスト・ジュネレーション・リーダー」、知っておくべき8つの大切なこと。趣味はエクササイズ、スノーボード、旅行、読書。妻と三男の父。

1・2時間目

### 1・2年コース (必修科目)

(敬称略)

	月	火	水	木	金
<b>1</b> AM8:45～9:40	旧約聖書概論 I 田中 信矢	世界教会史 I 鍛冶川利文	使徒の働き I 田中 博	約束の地を所有せよ 三浦 雅範	日本人の生活と聖書 松原 望
<b>2</b> AM10:00～10:55					
<b>3</b> AM11:05～12:00	信仰の土台 G・グドール	児童伝道 内越 努	信仰の土台 G・グドール	賛美の土台 岡田 留美子	イエスキリストの生涯 I J・ジャンセン



6月1日(月)～5日(金)  
迄の5日間。

### 有賀喜一 師

■全日本リバイバルミッション代表。リバイバル聖書神学校校長。

2・3時間目

### アルプスコース (必修科目)

<b>1</b> AM8:45～9:40	宣教と 開拓伝道 R・グドール	教会カウ ンタイン グ I 小栗 昭夫	弟子訓練 金 聖圭	ヨブ記 I 石田 吉男	霊的戦いの学び 岡田 好弘
<b>2</b> AM10:00～10:55					
<b>3</b> AM11:05～12:00	近郊の牧師	伝道のマスタープラン 鍛冶川利文	聖書釈義 I 松原 望		



6月9日(火)～11日(木)  
迄の3日間。

### キース・バンクス 師

■CFNI 講師。インターナショナル・クリスチャンチャーチ・ユース英語担当牧師、プロドラマー。

1・2時間目

### 選択科目

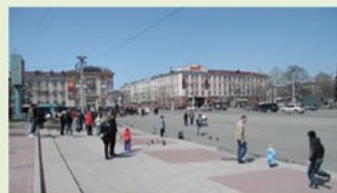
午後 PM13:00～15:00	ドラムクラス チップ・ブラウン	聖書ヘブライ語 金 聖圭	タンバリンクラス 鍛冶川紀子	実習 (必修)	ドラマ演劇 クラス 鍛冶川紀子
	英語クラス G・グドール		ピアノ&ポイトクラス 新井田路子		

※上記の授業は聴講ができます。授業料や内容に関しては、事務局にお問い合わせください。尚、スケジュールは、突然に変更する事があります。事前に事務局にご確認してください。



# CFNJ サハリン・アウトリーチ

- 日 程 / 2015年7月11日(土)～22日(水)
- 場 所 / ロシア・サハリン州のユジノサハリンスク、ポロナイスク、チーフホフなど。
- 参加人数 / 20名
- 参加金額 / 15万円(一人)



ユジノサハリンスク市街

CFNJ聖書学院は、過去に一度、旧ソビエト連邦が崩壊した直後の1993年にサハリン・アウトリーチに行きました。その時の人々の惨状を今でも忘れることができません。私たちは、日本の諸教会のクリスチャンが捧げてくださったことにより、4台の自動車や多くの衣類を持って行き、献品することができ、現地の人々に大変感謝されました。サハリンでは、数か所の教会や孤児院、病院などを訪問し、あるいは劇場を借り、福音を伝えました。多くの人々の心が開かれていた事を思い出します。その後の22年間で、当時1つか2つしかなかったペン

テコステ教会が、70近くにも増えました。主に栄光！このたび、サハリンの教会から招きを受け、再びサハリンを訪れ、諸教会を励まし、福音を伝える機会が与えられました。

ご存知の通り、ロシアは経済的に大変不安定な時期にあります。多くの人々は貧しく、困窮した生活を今も強いられています。私たちは、アウトリーチのための必要が満たされるだけでなく、現地の教会にも献金をささげたいと願っています。どうぞ、この必要を覚えてぜひお祈りくださると共に、献金をもってご支援くださいますようお願いいたします。

## ●参加予定者から

「私たちはこのサハリン・アウトリーチを本当に心待ちにしています。現在アウトリーチのための費用がまだ満たされていません。この事を特別にお祈りくださり、また、ご支援のほどをよろしくお願い申し上げます。」

## コンピュータ献金 30万円の必要



■CFNJ 聖書学院スタッフが使用しているコンピュータ数台が、老朽化のためにトラブルが連続しています。会計などの重要な情報が入っているコンピュータが先日壊れてしまい、全く使用できなくなりました。幸い、データは失われることなく、回収することができましたが、今後良い仕事をしていくためには、良いコンピュータが必要です。そのために30万円の必要を覚えています。ご支援くださる皆様にとっても必要が多い時期かと思いますが、どうぞ、CFNJ 聖書学院に与えられている使命を果たすために、お祈りと共に、献金をもってご支援くださいますようお願い申し上げます。

## 2014年度CFNJ会計報告 (2014年1月～12月)

収入		支出	
前期繰越	4,782,465	給与手当	19,011,600
KF献金	10,841,554	謝礼金	1,395,000
団体献金	4,603,886	対外献金	854,291
個人献金	4,610,451	水道光熱費	6,755,793
授業料収入	4,565,750	旅費交通費	1,025,929
寮管理収入	6,194,100	印刷費	407,396
食費収入	1,645,871	通信費	863,665
その他の収入	704,448	消耗品費	441,374
		火災保険	247,520
		修繕・維持費	1,021,723
		食費(材料費)	1,751,547
		広告費	155,800
		その他の支出	1,038,239
		支出合計	34,969,877
		次期繰越	2,978,648
収入合計	37,948,525		37,948,525



宗教学人 アジアキリスト福音宣教会・クライスト・フォー・ザ・ネーションズ日本校

# CFNJ聖書学院

〒061-3216 石狩市花川北6条5丁目157  
(0133)74-1341・1342 FAX 74-1343

●HP: [www.cfnj.com](http://www.cfnj.com) 郵便振替: 02780-4-4688  
●e-mail: [office@cfnj.com](mailto:office@cfnj.com) 学院長/鍛冶川利文

